

○。 .○。 .○。 .○。 .○。 .○。 .○。 .○。 .○。 .○。 .
水環境ニューズレター by RECWET 第 31 号 2025.6.18(水)
。 ○。 ○。 ○。 ○。 ○。 ○。 ○。 ○。 ○。 ○。 ○

琵琶湖疏水施設が国宝・重要文化財に指定される見込みとなり、観光スポットとしても着目されている
ようですね。それでは水に関する幅広い研究情報をお楽しみください。

水環境工学研究センター（RECWET）の活動

【最新情報：国際フォーラム IFAWET-5】 8月6-8日

インド政府機関や産業界からの後援、協賛も決まり、準備が
進められています。発表の申込は7月15日まで受け付けて
おります。インドにおける水環境研究者との研究交流の機会
として、ぜひご参加ください。

(画像：視察先のヒマラヤ環境研究保全機構)



【告知：講演会「地球の未来への多様な視点とエコソフィアの役割」】7月11日
マレーシア工科大学学長、国際水協会副会長、環境省、文部省などの事務総長を
歴任した **Zaini Ujang** 博士の来日を機に、東京カレッジと RECWET が Webinar
講演会を共同開催



【告知：RECWET 特別セミナー】7月3日

第 67 回：ベトナム日越大学 環境工学プログラム長 **Nguyen Thi An Hang** 准教
授と同プログラム **Tran Thi Viet Ha** 講師 2 名による特別講義
コーディネーター：春日郁郎准教授（RECWET/先端研）



【告知：流域水環境管理に関する研究（水システム管理部門）】

山崎大准教授(生産研/協力教員)が中心となり**社会基盤・水圏環境**グループが開催している **Hydrosphere
Science Seminar**（公開・オンライン）に本センターも連携しています。

#29 (7月7日) Dr. **Wei Jiang** (中国水利水電科学研究院)

#30 (7月22日) Prof. **Günter Blöschl** (ウィーン工科大学 水資源システムセンター長)

#31 (10月12日) **北島正章** 特任教授 (RECWET)

RECWET メンバーの活動

番号：1 水質制御技術・素材部門、2 水システム管理部門、3 国際水環境部門、4 国際下水疫学講座、5 分室

【論文の発行】

■ 2023年に研究受入れしたトリノ工科大学 **Albert Tiraferri** 准教授、**滝沢智前**センター長との共同研
究で、ブラウン力が水ろ過膜の細孔内でナノ粒子の輸送と保持に及ぼす影響を調査した論文（**橋本
崇史**准教授¹/Chem. Eng. Sci.誌, 10月1日）

- 遼上高や波打ち際の地形変化を捉えるなど、3D ライダーとビデオカメラを組み合わせたシステムが沿岸の動態理解に有力であると示した論文 ([田島芳満教授²/Coastal Engineering 誌](#), 6月15日)
- 日本赤十字社との共同研究で、血漿への UV-LED 照射の影響を調べた研究論文 ([小熊久美子教授³/Transfus. Med. Hemother 誌](#), 5月26日)
- インド、メキシコ、アメリカの研究者と共同で、マルチオミクスによる廃水処理の高度化に関する総説 ([栗栖太教授²/J. Environ. Chem. Eng. 誌](#), 5月22日)
- 塩野義製薬、北海道大学ほかとの共同研究で、凝集剤と磁性体を用いた下水からのウイルス濃縮法の開発に関する論文 ([北島正章特任教授⁴/ACS ES&T Water 誌](#), 5月16日)
- 脱炭素エネルギー管理を目的とし、世帯属性や設備ごとの電力消費量の特性、主要な電力消費が給湯であること等を解明した研究論文 ([藤田壮センター長/Sustainable Communities 誌](#), 4月17日)
- 塩野義製薬ほかとの共同研究で、下水中の新型コロナウイルス高感度検出技術の空気への適用に関する論文 ([北島正章特任教授⁴/Sci Rep 誌](#), 4月24日)

【イベント・特別講義・招待講演】

- 告知：片山浩之教授¹、加藤裕之特任准教授（都市/協力教員）、飛野智宏准教授（同）、鳥居将太郎講師（同）・劉 苗苗特任助教⁴がメタバース工学部ジュニア講座「都市の水循環を科学する ～上水道と下水道のしくみ～」で小中学生・保護者対象に講義予定（7/12・19日）
- 北島正章特任教授⁴が第40回日本環境感染学会総会・学術集会（7月12日@横浜）、第98回日本細菌学会総会（5月29日@金沢）、第14回小児呼吸器ウイルス感染症研究会（5月15日 WEB 配信）でそれぞれ招待講演
- IWA 専門家グループ [Health-related Water Microbiology](#) 主催の [WaterMicro2025@オランダ](#)で、Advisory Board Member 片山浩之教授¹がサイドイベントで円卓会議、北島正章特任教授⁴がセッションチェアと口頭発表、五味良太特任准教授⁴と鳥居将太郎講師（都市/協力教員）がそれぞれポスター発表、小熊久美子教授³がセッションチェアと共著者として参加（6月15-20日）
- 台湾環境省主催「日本次世代水環境先見研究フォーラム」で栗栖太教授²・中島典之教授（環境安全研究センター/協力教員）・飛野智宏准教授（都市/同）が招待講演。台湾新生報などで報道。
- 本センター「信大/東大連携分室」共催の第1回水圏環境科学セミナーにて、片山浩之教授¹、加藤隆史特任教授⁵、橋本崇史准教授¹が講演（6月2日，岡山大学）
- 日本工学アカデミー・STI2050（沖大幹委員長、北島正章ほか幹事）が共催した公開シンポジウム「[挑め、工学！－“IKIGAI”ある 2050 年に向けて－](#)」でパネルディスカッション（5月2日，室工大）

【その他の活動実績】

- 材料開発のため表面特性などを研究する高井まどか教授¹らが、ポリマーブラシ設計を通して親水性・疎水性などに関わるタンパク質・細胞との相互作用解析や機械学習を使用した機能性材料表面モデリングについて概説 ([C&I Commun 誌](#), 5月10日)
- 高井まどか教授¹が双性イオン高分子を修飾したナノ薄膜の界面構造によるバクテリア付着抑制について[表面技術 5月号](#)で解説
- JST 未来社会創造事業の特集 [JSTnews 5月号](#)：課題全体の研究概要と分担研究代表者北島正章特任教授⁴の研究詳細、[水道公論 3月号](#)：下水道学領域の同特任教授と高知大学教授が解説。

- 東大教授たちの「超」未来予測 [第3章（全11回）](#) で小熊久美子教授³提供テーマの動画公開 「善意の寄付は続かない」「温暖化で増える洪水・日本に必要な対策とは」（～5月5日）
- 小熊久美子教授³が懇話会メンバーである東京財団「[未来の水ビジョン](#)」プログラムが、[最終懇話会と総括（ヒント集）](#)を公開。同教授、沖大幹研究代表、徳永朋祥教授・坂本麻衣子准教授（第1期メンバー／新領域）が話題提供（3月31日）
- 春日郁朗特任准教授⁴の研究「[下水道から都市の健康を探る](#)」が東大メタバース工学部 Instagram で紹介（3月4日）
- JST 国際共同研究「[水の安全保障](#)」領域（日本・フィリピン）が本年1月開始。栗栖太教授²の研究課題では2月末に本学研究者4名が[現地にてWS開催](#)。

学内関連講座の活動

【[下水道システムイノベーション研究室](#)】リンク先はいずれも PDF
加藤裕之特任准教授への[下水道 GX に関するインタビュー記事](#)が建設通信新聞「環境 2025」特集（5月28日）に、[下水道エネルギー活用に関して取材協力した記事](#)が日経新聞（4月16日）に掲載

イベント・講演のピックアップ！ヘッドライン

【告知：[IWA dipcon2025@チリ](#) 中島典之教授（環境安全研究セ/協力教員）】11月18-21日
同教授が[プログラム委員](#)を務める面源汚染と富栄養化に関する国際会議がアブスト募集中

【告知：[環境科学会 2025 年シンポジウム@広島](#)】9月4日 下記リンク先は PDF
飛野智宏准教授（都市/協力教員）が[シンポ-1](#)「水インフラに見る人々の暮らしと価値観」に登壇、栗栖聖准教授（同）が[シンポ-7](#)「持続可能な食システムに向けて」のオーガナイザー

【告知：[Bangkok Unit 2025@バンコク](#) 飛野智宏准教授（都市/協力教員）】8月7-17日
日・泰の修士学生がバンコク都市化に伴う環境問題に取り組む夏季集中講座が再開。同准教授を中心に都市工学専攻・タイ KMUTT 主催。過去のテーマは水質汚濁・プラスチック廃棄物・大気汚染など

【告知：[雨水技術情報交換会](#) 中島典之教授（環境安全研究セ/協力教員）】7月30日で調整中
幹事として、今後の雨水対策の推進を目的とした産官学での情報交換・交流を下水道研究発表の会期間中に開催予定（6月下旬にサイト更新見込み）

【告知：[流域ぶらっとフォーラム 2025](#) 沖大幹教授ら】7月26日
SOLVE for SDGs 沖プロジェクト*からスタートした[流域ぶらっとフォーラム](#)が今年もイベント開催。「水とくらしはどうつながってる？みんなの流域じまん」

* 本学メンバーは沖大幹教授、木口雅司上席研究員（社会基盤）、乃田啓吾准教授（農学生命）、吉田貢士教授（新領域）

【告知：[第21回生態影響試験実習セミナー](#) 日置恭史郎講師（都市/協力教員）】7月23-25日

前職・国環研で第13回目(2018年)から担当のセミナー。今回は動物福祉の観点から着目される魚類胚期急性毒性試験がテーマで講師として一部担当予定。ハイブリッド開催。

【告知：[Human-Flood interaction workshop@IIS](#) 山崎大准教授（生産研/協力教員）ら】7月23日
洪水と人間社会の相互作用についての1日ワークショップ。Prof [Günter Blöschl](#) と Prof [Giuliano Di Baldassarre](#) が特別講演

- 【告知：[全国紙掲載](#)など3シンポジウムに登壇 蔵治光一郎教授（演習林）】6～7月
- [日本の山はシカの楽園？山、森、水が危ない？！](#) 今何ができるかを多分野専門家が議論（7月12日）
 - [長良川河口堰運用30年\(PDF\)](#) これからの堰を考える（7月6日）
 - [不知火海・球磨川流域圏学会創立記念](#) 森問題に取り組む人々を取り上げた映画&講演会(6月21日)

【[第140回 東京大学公開講座「災害」](#) 山崎大准教授（生産研/協力教員）】6月14日
本学150周年を記念し3日間12講演。Day2「自然災害」に登壇し、気候変動対策に必要な衛星やシミュレーションを活用した広域災害モニタリング研究の最前線を紹介

【[高校生講義体験 気候変動と水循環](#) 芳村圭教授（生産研）】6月5日
水の安定同位体の分光技術を用いた人工衛星観測が豪雨予測にも役立つ等、最前線の研究を千葉明德高校1年生70名に紹介

【[中高生向け 防災地理部2025ミーティング](#) 羽藤英二教授（社会基盤）】6月5日
同教授の研究室が2020年から開催している[シリーズ講義](#)。今回は[江の川の防災集団移転事業](#)について全国の高校生と議論

【[CWL 未来共創塾#21](#) 村山顕人教授（都市）】5月23日
川の浄化・再生、ライトレール事業、自転車都市、住民参加型、環境配慮とグリーンインフラなど、米国ポーランドの環境に考慮したまちづくり政策を紹介

【[水：気候変動対策といのち輝く未来社会への鍵](#) 沖大幹教授（社会基盤）・福士謙介教授（未来ビジョン/協力教員）】5月16日
国連大学・スウェーデン大使館他主催のシンポジウムでスウェーデン国王・天皇陛下ご臨席のもと両教授らが基調講演。[工学系研究科トピックス](#)

その他、水にかかわる話題ヘッドライン

【[いま飲んでいる水は安全なものですか？](#) 山室真澄教授（新領域）】5月31日
秋田県内での水道水農薬汚染の調査結果を受け、全国河川水調査でもさらに高濃度のネオニコチノイドが検出されていると[同教授が警告](#)

【書籍「[答えのない人と自然のあいだ](#)」編 福永真弓准教授（新領域）】5月25日

「自然保護」以後の環境社会学として水辺・獣害・森・河川・市民農業・海・里山・食ほかについて、自然とは何か、その中で生きる人間とは何かを問う

【隔月連載「水」が持つ価値とは何か 乃田啓吾准教授（農学生命）】5月号
同准教授らによる有識者インタビューの第7回目が[水道公論](#)掲載。農業水利を中心に学際的かつ国際的な活動でリーダーシップを担った渡邊紹裕氏が水について守りたい・誇りに思うこととは

【[Yayoi Highlight No.80](#) 吉田丈人教授（農学生命）】Spring 2025
人々が自然の恵みと災いに向き合い築いてきた「知」を現代の社会課題解決に活かす取り組み。近年着目されているグリーンインフラ等は現代版の伝統知・地域知

最後に

最後までご覧いただき誠にありがとうございました。
水環境等に関するイベントや、プロジェクトをご紹介ください。また、本ニュースレターにて学内研究者・関係者にお知らせしたい情報がありましたら、ぜひご連絡ください。
次回の配信は2025年8月を予定しております。「水」のセンターなので、配信日は水曜日です！

▼当ニュースレターのバックナンバー

<https://www.recwet.t.u-tokyo.ac.jp/details/newsletter.html>

工学系研究科 附属水環境工学研究センター（RECWET）

連絡先：古正裕紀 sec-recwet@env.t.u-tokyo.ac.jp

新規ご購入・配信停止はメールにて承ります。